

JA水戸茨城町メロン部会 令和5年産初出荷および知事表敬訪問を行いました。

JA水戸・茨城町の名産品でありますメロンの令和5年産初出荷が令和5年3月27日(月)に行われ、県内のJAでは最初の出荷となりました。このため、産地では令和5年3月31日（金）県庁5階知事応接室にて、知事表敬訪問を行いました。

○出席者：小林茨城町長、長谷川県議会議員

JA水戸 園部代表理事専務、鳥羽田茨城町メロン部会長、他、計12名

○本年度の作柄（JA水戸園部代表理事専務）

本年度は昨年11月下旬より定植作業が始まり、12月～1月中旬までは平均気温も高く、日照時間も確保されて、生育は順調に進んだ。1月末の寒波による生育への影響も心配されたが、生育に大きな影響はでなかった。3月27日の初出荷は、大きさはL A～2 L 中心の出荷となり1ケース1万円の価格がついた。4月中旬以降になれば、例年並みの玉肥大となり2 L～3 L 中心のメロンが出荷されるようになり、5月上旬から本格的な出荷ピークを迎える見込み。また、特別栽培農産物に認証されている「ひぬまの恵み 愛ちゃんメロン」については5月中旬からの出荷予定。

○主な発言内容

知事「生産者の方々は大変な苦勞をしながら高品質なメロンを作っているのだから、売り方を工夫して、是非、高価格での販売を目指してほしい。それにより、産地全体の評価が高くなる。また、高品質な日本の果物は海外での評価も高く、高単価で販売することも期待できる。」

小林町長「おかげさまで茨城町のメロンの評価は年々あがっている。生産者間の品質格差を少なくし、部会全体が高い品質のものを作れるようにしていただくとともに、行政、生産者、JAが一体となって販売方法についてもぜひ検討していきたい。」

<メロン部会 令和5年度の概要>

生産者数：41名

栽培面積：33.7 ha

栽培品種(構成)：「オトメ(27.5%)」「アンデス(10.4%)」
「レノン(39.4%)」「イバラキング(6.2%)」

出荷予定数：24万ケース（1ケース5kg）

<JA水戸茨城町メロン部会の主な特徴>

メロン生産量日本一を誇る茨城県内でも有数の産地。水はけの良い土地と温暖な気候をいかした高品質栽培を行う。昭和62年に茨城県銘柄産地指定を受ける。部会内に「こだわり研究部(11名)」を置き、有機肥料を主体に農薬を慣行栽培の半分以下にしたブランドメロン「ひぬまの恵み・愛ちゃんメロン」栽培に取り組んでいる。

■ 本件に関するお問い合わせ、ご取材のお申し込みは、下記までご相談ください。

茨城県農林水産部産地振興課 担当：相馬、山家、笹沼

TEL:029-301-3954 / FAX:029-301-3939 / E-mail:sansin4@pref.ibaraki.lg.jp

左から、長谷川県議会議員、小林茨城町長、大井川知事、
JA水戸 園部代表理事専務、鳥羽田茨城町メロン部会長

